

「北海道中医薬研究会」の会員店は、気軽に健康相談ができる、漢方を扱う「街の薬屋さん」。今回は、昨年新たに会員店になった釧路市の「漢方薬店・漢方アロマサロン 萌芽」を訪れました。



vol.34

街の身近な

## 健康相談

僕は厳選した  
中成薬を扱う  
会員店の印だよ。  
気軽に相談に来てね!



### 体の内外から不調にアプローチ 元看護師が営む新規会員店

ニーハオ・シンシン(星星)

#### 中医学の理論に基づいて 心と体に向き合うサロン

釧路市の新規会員店「漢方薬店・漢方アロマサロン 萌芽」は、中医学（中国の伝統医学）の理論に基づき、一人一人に合わせて漢方相談や漢方アロマトリートメント、耳つぼケアなどを行っているサロンだ。

代表の浅里郁美さんは元看護師。多忙な日々を送る中で、「娘にアトピーの症状が出てしまった」と、なかなか改善しなくて。西洋医学以外にもさまざまな方法を模索しているうちに、中医学と出会いました」と語る。札幌の北海道中医薬研究会の会員店に診てもらつたところ、娘さんの症状が改善。もともと皮膚が弱かつた浅里さんも相談することに。「体質に合う適切な中成薬（漢方薬）を飲む大切さとともに、生活習慣や心の持ちようがいかに大切か、そこで教わりました」。仕事を優先するあまり、生活をおろそかにしていたと気付いたという。「人の体をケアする職業なのに、自分の体に目を向けていませんでした。無理や我慢が、皮膚の不調となつて現れていたのですね」。

浅里さんが当時所属していたのは救急外来。元気だった人が突然亡くなる場面に立ち会うたび、「明日があるとは限らない」。

自分が本当にしたいことをしようと」と思つたといふ。そこから

の決断と行動は早かつた。仕事を辞め、体と向き合う方法を学ぶために中医学講座を受講。通ついた会員店で指導を受けな

がら、7ヶ月間の店舗研修も行つた。並行して漢方アロマを学び、2021年にサロンをオープン。登録販売者の資格を取得して、昨年4月からは薬店として、中成薬を扱つてはいる。

看護師時代は、患者さんと向

んでした。今は一人一人の体と

心じっくりと向き合い、サポートさせてもらつてはいる。

トさせてもらつてはいる。

トさせてもらつてはいる。</p